

## 令和 5 年度 東京都立江東商業高等学校 学校経営報告

東京都立江東商業高等学校長

智片 将也

創立 118 年を迎えた本校は、「地域の熱い思いに支えられ、地域とともに歩む学校」をスローガンに掲げ、生徒一人一人が社会人としての素養を身に付けられるよう、基礎・基本の充実とともに、商業科目を通じて獲得した専門的知識を活用して、ビジネスを考え、動かし、変えていく生徒の育成を図っている。

本年度は新型コロナウイルス感染症の位置付けが 5 類感染症となったことに伴い、これまでの行動制限が大幅に緩和され、体育祭、文化祭などの学校行事、修学旅行の実施などにより教育活動の幅を広げることが出来た。

また、東京都教育委員会の施策として「都立学校 P R 事業」を活用したことや、学校 P R 動画の作成、生徒による母校訪問、教員による学習塾訪問を重点的に実施したことにより入学者選抜で本校の定員を確保することが出来た。

一方で、生徒の基礎学力が年々低下している現状もあり、アクティブラーニング型授業の導入、一人 1 台端末の活用などの指導方法の改善とともに、観点別学習状況の評価の検証と評価方法の改善などに着手し、生徒の学習意欲を向上させるような取組を学校全体として検討していくことが課題となっている。

## 1. 今年度の取組と自己評価

|           | 今年度の取組  | 自己評価  |
|-----------|---|---|
| 学校運営      | ① 個人情報 を適正に管理し、教職員の意識を高め、サービス事故ゼロを目指す。<br>② ライフ・ワーク・バランスを推進し、特に担任の負担軽減を図る。  | ① サービス事故防止研修等を通じて、日ごころからの個人情報管理を徹底した。<br>② 産業医と連携し、教員の健康管理、残業時間の管理等労働環境を整備した。 |
| 学習指導      | ① 生徒が分かる授業を目指して、ICT 機器等の活用などによる授業改善。<br>② 社会貢献の意識向上のため、探究的な学びを通して課題解決能力を育む。 | ① 多くの授業で一人 1 台端末を活用した授業形態が見られるようになった。<br>② 特に「人間と社会」では、外部と連携し探究的な学びが推進された。    |
| 生活指導・進路指導 | ① 一年次からのキャリア教育を充実させ、生徒の資質を向上させる。<br>② 基本的な生活習慣の確立に向けて、組織的な生活指導に取り組む。        | ① 考査後の期間を利用して、学年の運営によりキャリア教育が展開された。<br>② 始業前の登校指導などでは、多くの教員が参加し生活指導を徹底した。     |
| ・ 特別の活動   | ① 学校行事の充実と活性化を図り、生徒の主体的活動を支援する。<br>② 組織的な情報共有を通じたいじめの未然防止・早期対応と体罰の防止。       | ① 体育祭・文化祭などで生徒の主体的活動や自主的な運営が見られた。<br>② 組織的な情報共有が行われ、配慮を要する生徒等への見守りが行われた。      |
| 健康づくり     | ① スクールカウンセラーと連携し、生徒の心身のケアに努める。<br>② 総合型学習支援システムを活用し、家庭と連携した体調管理に努める。        | ① S C と組織的な連携が実施された。今後特別支援教育の充実を目指す。<br>② コンディションレポートの活用が、年 3 回の期間で実施された。     |
| 募集対策・広報   | ① 募集対策・広報活動を充実させ、入学者選抜で適正な倍率を確保する。<br>② 同窓会・P T A と連携した地域行事への参加や創立記念行事の準備   | ① 学校説明会での工夫を凝らし、入学者選抜では定員を確保できた。<br>② 亀戸地域への行事参加、創立記念行事の準備体制を構築できた。           |

## 2. 重点目標への取組と自己評価

| 取組                                    | 自己評価                                   |
|---------------------------------------|--|
| ①地域行事への参加、中学校や学習塾訪問を行い、本校の教育活動を発信する。  | ①生徒による母校訪問、教員による学習塾訪問を通じて本校の成果を発信できた。  |
| ②学校ホームページ等により、本校生徒の教育活動の情報発信を行う。      | ②学校ホームページを通じて、定期的に生徒の活動状況を発信できた。       |
| ③意欲ある生徒の確保のため特色ある教育活動を発信するための手段を検討する。 | ③横断幕を作成し、大会等で顕著な成績を上げた部活動等を地域に発信した。    |
| ④生徒の進路実現に向けて、全教員による組織的な面接指導を実施する。     | ④夏季休業期間や就職試験直前に組織的な面接指導が実施できた。         |
| ⑤基礎学力の定着により、一般常識の指導を強化して進学対策を行う。      | ⑤朝学習等を通じて、地道で粘り強い指導が実施され、効果を上げることが出来た。 |
| ⑥資格取得を奨励し、検定合格に向けての指導を通じ、生徒の意欲向上を図る。  | ⑥多くの検定で目標を達成し、生徒の意欲向上を図ることができた。        |
| ⑦全校をあげて服装、頭髪、言葉遣い、授業規律など注意・指導を励行する。   | ⑦全教員による組織的な指導が行われ、規律ある学校生活を実現できた。      |
| ⑧登校時間や授業開始時刻を守らせ、はじめのある学校生活を送らせる。     | ⑧登校指導や各教科での組織的な指導が実施できた。               |

## 3. 数値目標の達成状況

| 評価項目             | 年度当初の目標 | 実績    |
|------------------|---------|-------|
| ①推薦に基づく選抜の応募倍率   | 1.20倍   | 1.20倍 |
| ②学力検査に基づく選抜の応募倍率 | 1.05倍   | 0.95倍 |
| ③本校への入学満足度       | 90%     | 80.0% |
| ④生徒の授業満足度        | 90%     | 79%   |
| ⑤進路指導満足度         | 90%     | 88.0% |
| ⑥教育相談体制満足度       | 90%     | 87.0% |
| ⑦学校ホームページ等の発信回数  | 250回    | 311回  |
| ⑧簿記3級合格率         | 85%以上   | 82.3% |
| ⑨情報処理3級合格率       | 75%以上   | 89.2% |
| ⑩自立経営推進予算執行率     | 75%     | 52.2% |

## 4. 次年度以降の課題と対応策

| 課題                  | 対応策                                   |
|---------------------|---------------------------------------|
| ①教科指導の充実・発展         | ①教科横断的な学習やリアテンドントの分析機能を活用した取組を充実させる。  |
| ②地域や企業と連携した教育の充実・発展 | ②課題発見力、課題解決力を高めさせるため、今後連携事業を充実させる。    |
| ③生活指導の改善・充実         | ③規律を守る指導を充実させつつ、生徒の自発的な行動力を高めさせる。     |
| ④進路指導の充実            | ④総合型選抜への対応を充実させることにより高いレベルでの進路実現を目指す。 |
| ⑤広報や募集活動の改善・充実      | ⑤本年度の取組を検証し、より多くの中学生に対し、本校の特長を発信する。   |
| ⑥特別支援教育の充実          | ⑥定期的な情報共有の場の創出と、都立学校エリアネットワークとの連携強化。  |
| ⑦教職員のワークライフバランスの推進  | ⑦ストレスチェックの集団分析や健康診断結果を活用して、継続して推進する。  |